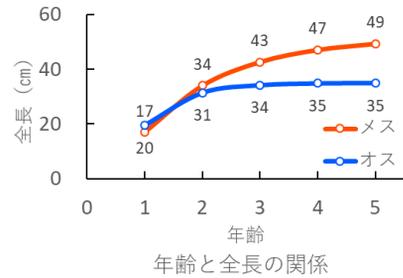


# ホシガレイ（地方名：はだがれい、がやま）

## 1 生態

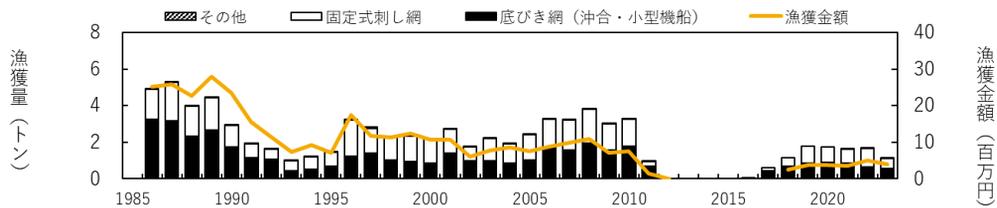
- ・本州中部以南、東シナ海、朝鮮半島沿岸などの水深200m以浅の砂泥域に分布し、幼稚魚は沿岸干潟域で成長します。
- ・成熟全長はオス28cm、メス40cm前後です。産卵期は12～2月で、盛期は1月です。
- ・幼稚魚はヨコエビ類、アミ類等、成魚はカニ類等の甲殻類を食べます。



\* 福島県水試研究報告第14号（2007）により右図を作成

## 2 漁業に関する情報

- ・沖合底びき網及び小型機船底びき網や刺し網等で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は1.1トン、金額は3.9百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）10月から漁獲が再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 \* 2016～2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- ・CPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の資源量指標となる情報が不足していることから資源水準は不明です。
- ・漁獲量の推移から、震災以前と比較して近年の資源は低位と考えられます。
- ・資源の動向は、過去5年間の漁獲量の推移から、減少傾向と判断しました。

## 4 資源管理の取組み

- ・漁業者の自主的な取り決めにより、全長30cm未満の水揚げ、販売禁止に取り組んでいます。この取組みは、2010年（平成22年）7月に相双地区で開始され、2011年（平成23年）1月から全県に拡大されました。
- ・福島県ではホシガレイの資源増大を目指して種苗放流に取り組んでいます。過去5年間では年間2万尾～18万尾を放流しました。

